

実践報告

# 袋井市福祉施設連絡会

---

社会福祉法人袋井市社会福祉協議会  
地域福祉係  
主任主事 杉亜佑美



袋井市福祉施設連絡会  
イメージキャラクター

## 袋井市の紹介

旧袋井市・旧浅羽町が平成17年4月に合併し、袋井市が誕生。

温暖な気候が特徴で、市南部は太平洋に面し、北部は山地と豊かな自然に恵まれ、  
田園地帯と美しい茶畑が広がっている。



人口 88,047人  
ネットワーク参加法人数  
10法人  
高齢化率 25.5%  
総人口に占める外国人籍の  
方の割合 6.42%

(令和6年4月1日現在)

## 袋井市福祉施設連絡会の概要

法人名	事業内容	収益規模
社会福祉法人なごみかぜ	障害福祉事業・児童福祉事業	2 7 0 百万円
社会福祉法人デンマーク 牧場福祉会	児童福祉事業・高齢者福祉事業・障害者福祉 事業・医業・その他	9 6 8 百万円
社会福祉法人遠州中央福 祉会	高齢者福祉事業	1 2 9 6 百万円
社会福祉法人天竜厚生会	児童福祉事業・高齢者福祉事業・障害者福祉 事業・生活保護事業・医業	1 4 3 8 7 百万円
社会福祉法人三宝会	児童福祉事業・高齢者福祉事業	1 3 3 3 百万円
社会福祉法人ひつじ	障害者福祉事業	5 5 3 百万円
社会福祉法人萬松会	高齢者福祉事業	4 6 6 百万円
社会福祉法人明和会	児童福祉事業・高齢者福祉事業・障害者福祉 事業	2 3 4 7 百万円
NPO法人やくわり	障害者福祉事業	3 5 0 百万円
社会福祉法人袋井市社会 福祉協議会	※事務局	2 2 4 百万円

❖ 参画法人は、すべて法人本部または事業所が袋井市内にある。（社会福祉法人遠州中央福祉会は磐田市、社会福祉法人天竜厚生会は浜松市に法人本部がある。）

# 法人間ネットワーク事業に取り組む経緯

## 【社協として感じていた課題】

地域福祉活動の中で、住民だけでは解決できない課題や困りごとに対し、社会福祉法人等の支援があると良いのではないか。

令和2年6月

- 近隣市町（磐田市）の取組み事例を聞く講演会の実施
- 市内の社会福祉法人向けのアンケートの実施、課題の把握

令和3年6月

- 小規模法人等ネットワーク連携推進事業としての活動を開始（プラットフォームとして年4回の会議を開催）
- 各社会福祉法人が取り組めそうな課題について把握
- 主な取組事業内容（BCP作成事業、人材確保事業）の決定

～令和6年

- 地域から寄せられた課題に対しての取組み
- 主な取組事業を柱にしつつ、事業を継続

## 事業概要①BCP作成事業

ネットワーク事業を始めた当初、参画法人ではBCP作成に未着手もしくは見直しが必要だという認識の法人が多かった。特に「法人間の連携」「地域との連携」という部分について重点を置き、取り組んでいる。



社会福祉法人  
三宝会



社会福祉法人  
なごみかぜ

### 取り組み内容

#### ①BCP作成に関する勉強会の実施、有識者による施設訪問とアドバイス

✦今年度の勉強会

「能登半島地震における社会福祉施設・事業所の被災状況とその課題について」

#### ②地域と共に行う防災に関する訓練・研修の実施

#### ③法人間での情報共有のためのグーグルドライブやLINEオープンチャットの活用



## 事業概要②人材確保事業

各法人の魅力や福祉の仕事の良さをPRするだけでなく、地域全体で福祉にかかわる人材を育てることを共通認識として事業に取り組んだ。



保護者や生徒を  
推薦する高校の  
先生も意識した  
内容に！

### 取り組み内容

①「高校生と企業をつなぐ説明会」  
に共同で出展

②高校生をターゲットにした人  
材確保事業パンフレット「この  
ゆびとまれ」を作成

③採用に関する勉強会の実施  
✦今年度の勉強会「外国人人材の採用・定  
着」

④採用に至らなかった人材への  
他の求人情報提供サイトの作成



## 事業概要③その他の課題に対する取り組み

事業を進める中で、地域から寄せられた課題について、プラットフォームの会議の中で協議し、対応している。

### 取り組み内容

①住民主体の移動支援活動に対する  
社会福祉法人車両の提供

②就労支援・社会参加の場の提供

③中学生向けキャリア教育への講師  
派遣



事業に取り組んだ成果として、下記3つの効果を感じています。

### 01.地域の理解の 促進

ネットワークの取り組み  
を見て住民自身が課題に  
気が付く。

### 02.顔の見える関係 の構築

法人間で必要な情報交換、  
意見交換ができる。

### 03.各法人の基盤 強化

人材の確保やBCPを通  
じて法人の基盤強化が  
できた。

法人間が繋がることで住民や求人者に対するPRにもなり、社会福祉法人の存在や取り組みを今まで以上にアピールできていると感じています。

また「より実効性の高いBCPを作成できた」、「災害に備えるにあたりネットワークの重要性を感じている」「求人者にPRできた」と参画法人より御意見をいただくことができました。

今後も各法人の基盤強化や地域における公益活動を支援しつつ、袋井市がより住みやすい市になるよう努めていきます。